

STOP!! 飲酒運転

飲酒運転は、多くの人の未来を

奪ってしまう**犯罪**です。



酒酔い運転

5年以下の懲役又は
100万円以下の罰金

免許取消し(35点)

※前歴、その他累積点数がない場合



取締りに
遭わなければ
いいと思って
いませんか?

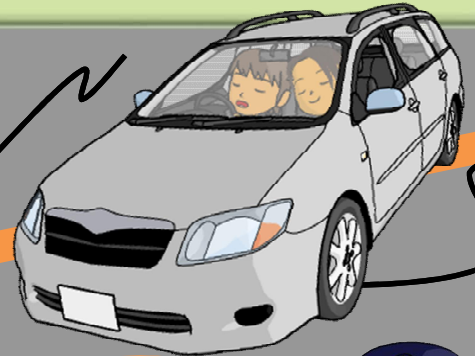
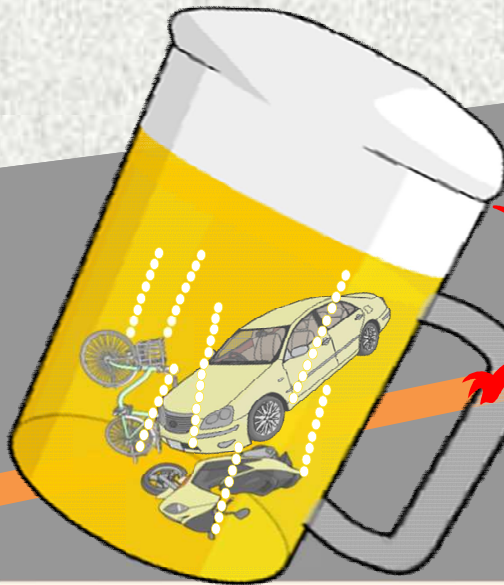
酒気帯び運転

3年以下の懲役又は
50万円以下の罰金

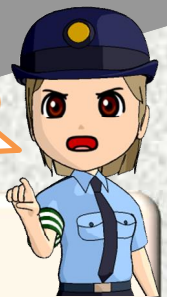
◎ 0.25mg以上(呼気1L中)
免許取消し(25点)

◎ 0.15mg以上、0.25mg未満
(呼気1L中)
免許停止(13点)

※前歴、その他累積点数がない場合



自宅での飲酒後の
事故が増えています!



職場やご家庭、周りの方が声をかけて、

飲酒運転をしない・させない・許さない
環境づくりに御協力を!!

裏面の交通犯罪被害者御遺族の方
からのメッセージを御一読ください。

飲酒運転の車にはねられ娘さんを亡くされた御遺族の手記

永遠の齡（よわい）一七～車は私を見ていない～

娘を亡くすまで

私は、この国のどこかで起こる交通事故や犯罪の報せを聞いて、亡くなられた方を気の毒には思いましたが「明日は我が身」という、危機感を持ちませんでした。

「ルールを守り、車に気をつければ、事故には遭わない」と、上から目線でした。

しかし現実には、ルールを守っていても、身勝手な無法運転が、落ち度のない娘に気付くことなく巻き込みました。テレビの向こう側にあると思っていた残酷は、私達が生きるこの世のことなのだと思いきり、子供の命が奪われて初めて、ひと事と思っていたことに気付かされました。

事件の概要

平成30年5月11日（金）朝、熊本市西区で起きた交通犯罪（酒気帯びわき見運転）により、長女（当時17歳）を失いました。

運転手の男は、前夜、同僚と深夜におよぶ残業後、遅い晩飯がてら一杯飲むことになり、それぞれの車で市内中心部へ向かい、当日深夜から未明にかけて、24時間営業の居酒屋にて、飲食をしました。明け方、仮眠のため車に戻ると、仕事場の鍵が無いことに気付き、自ら社用車を運転、西区の自宅に向かう途中、現場では前方をよく見ておらず、路側帯（車道左側）を同方向へ自転車通学する娘に振り向く暇（いとま）も与えず、後方からはねました。

娘は、その衝撃で前方約30mの横断歩道上にまで至り、意識不明のまま救急搬送され、駆けつける私たちが待っていたかのように、意識を取り戻しました。

「おうちに帰るよ！」母親の呼びかけに全身で「うんうんうん」と応え、生きる意志を力の限り示しました。しかし、約束の時間を越えることは叶いませんでした。

やがて眼のなかの唯一の光は、永遠の闇に吸い込まれるように消えました。

ハンドルを握られるあなたへ

どうかハンドルを握られる間だけは、交通弱者と他の交通に対し「少しでも関心を持って」運転していただきますよう、お願いいたします。

「笑顔と幸せをいっぱいくれた娘」の父より

